

～・～・～電線共同溝工事のお知らせ～・～・～

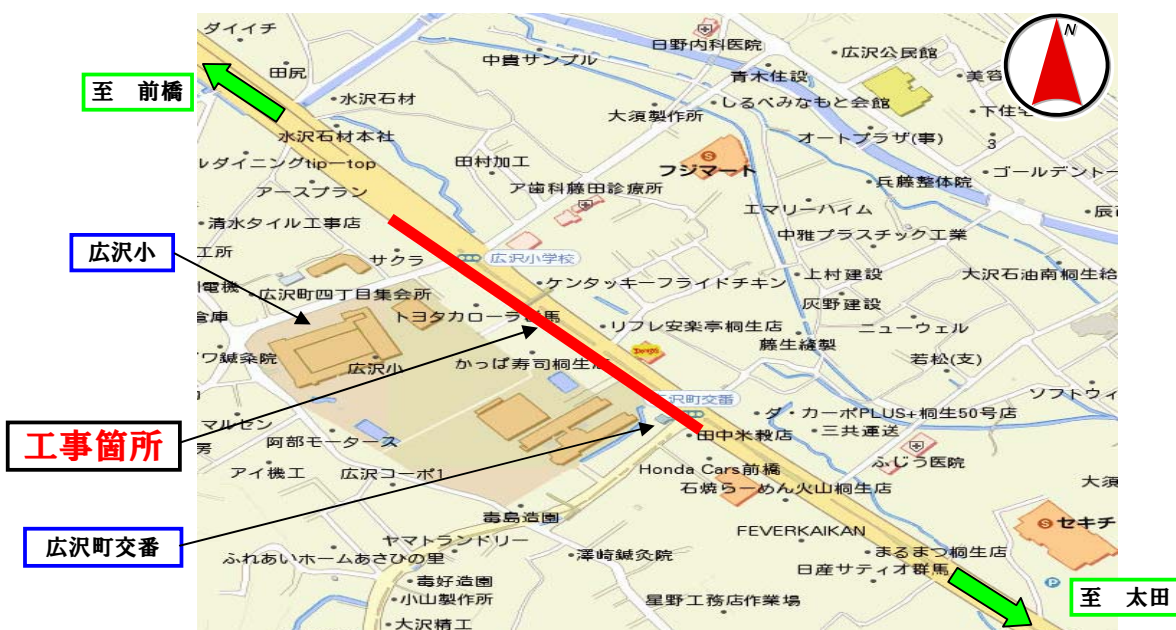
～・～・～地域住民の皆様方へ～・～・～

この度、国道50号におきまして電線共同溝工事を施工することとなりました。電線共同溝工事とは道路から電柱や上空の電線類を無くし、歩道及び車道の地下に収容することにより町並みの景観をスッキリするとともに、地震や台風による電柱の倒壊を無くし、安全性を向上することが期待できます。

工事期間中は地域住民の皆様方に大変ご迷惑をお掛けしますが、何卒ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 工 事 名 : 広沢電線共同溝6工事
- 工 事 場 所 : 桐生市広沢町4丁目～5丁目
- 工 事 期 間 : 平成21年7月～平成22年2月10日頃まで
- 作 業 期 間 : 昼間施工 9:00～17:00
夜間施工 21:00～6:00
- 施 工 者 : 鹿島道路株式会社関東支店
- 発 注 者 : 国土交通省 関東整備局
高崎河川国道事務所 桐生国道維持出張所
TEL 0277-76-2523



～・～・～電線共同溝について～・～・～

◎電線共同溝とは、電線及び光ファイバーをまとめて歩道の下に収容する施設のことです。以前の歩道は、電柱がありその分歩道の幅が狭く歩行者と対向から来る歩行者や自転車等に接触する、歩行者の脇から通り抜けようとした時に電柱があり、危うくぶつかりそうになった等経験された方は多くいらっしゃるかと思います。そこで、この度工事を行うにあたって改善される事項を挙げさせていただきます。

1. 電柱や電線類が無くなると歩道の幅が広がるほか、見通しが良くなり交通の安全性が向上します。
2. 私たちの生活の中に電柱が無い環境はなかったと思います。電柱が無くなれば町の景観はがらりと変わり、美しい景観との新たな出会いがあります。
3. 地震や台風といった自然災害が起こった際に、電柱が倒れ下敷きになる電線が垂れるといったことがあったと思います。こういった2次災害も未然に防ぐことができます。
4. 情報化社会になり情報通信ネットワークは広がる一方です。その情報化社会にとって電線はいわばライフラインそのものです。地震などの緊急時に電柱が倒れ電線が切れてしまい全く機能しない。地中に電線を埋めることによりこういった懸念を払拭することができます。

以上のような利点があります。皆様方の普段の生活により便利になるよう心掛けて工事を行って参ります。ご理解とご協力のほどご配慮いただけますようお願い申し上げます。

～・～・～電線共同溝イメージ図～・～・～

